

民主党岡山県総支部連合会「政権移行委員会」の設置について

趣 旨：政権交代に伴い、岡山県連においても、民主党政権下での新しい政治のしくみを構築していく必要がある。

特に、9月議会での補正予算審議および来年度予算編成に向けて、自治体・議会・団体等から情報不足感や懸念、問題意識などが強く感じられる。

一方で、党本部および新政権の体制・方針は、今まさに作られつつある途上である。

また、国政においては民主党が多数を占めたとはいえ、県内自治体議会では異なる状況があり、他党や無所属の議員の方々との新たな関係構築に取り組んでいかなければならない。

そこで、暫定的な組織として「政権移行委員会」を立ち上げる。フットワークを活かし、自ら出向いてコミュニケーションの窓口を開き、積極的に意見交換を行うことで、新しい政治のしくみ作りをスタートさせる。

構 成：県連所属国会議員5名、第3区総支部長および自治体議員12名

当面の取り組み：衆議院議員・総支部長と県議会議員のチームで県内全自治体および自治体議会を訪問し、意見交換を行う。11日には赤磐市訪問を予定。

今後の方向性：団体等との関係構築も行っていく。

一人ひとりの県民からの提言や相談、要望などをどのように受け止め、応え、政策につなげていくか、についても、窓口の開設等を検討。

把握した課題等については、とりまとめて党本部および県連の議論に活かしていく。

県連においては、11月頃を目途に常設の地方版国家戦略局のようなものの設置を目指しており、「政権移行委員会」は発展的に解消する。

- * 今回の訪問は、市町村から「要望」「陳情」を聞く場ではない。従来の「利益誘導型」「口利き」とは異なる新しいしくみ作りのスタートである。「地域主権国家」の理念からすれば、地方の首長や議会が上京して陳情する政治を終わらせるべきである。